

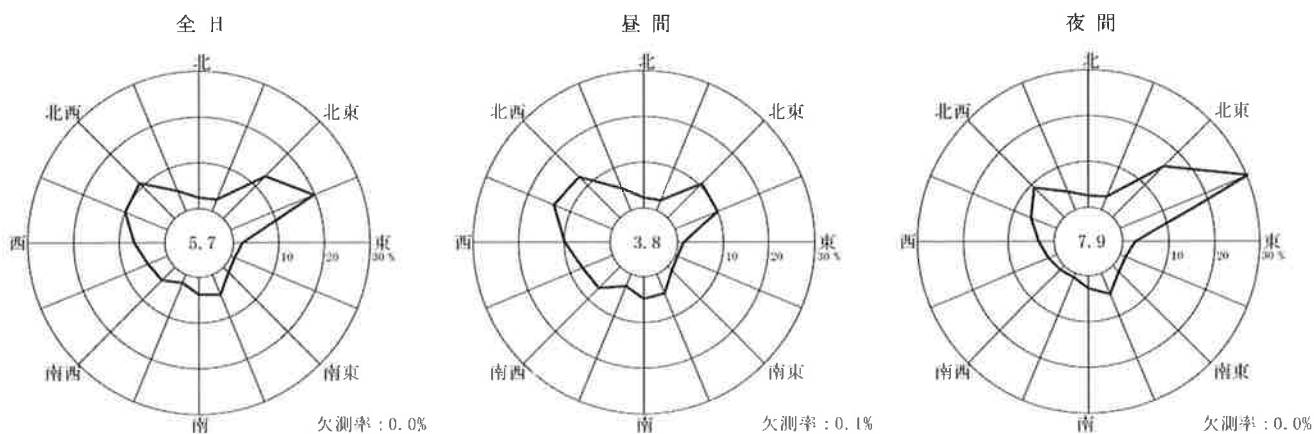
気象調査結果の概要

| 項目 地点 (期間) | 風向・風速 | | 日射量 | 放射収支量 |
|---------------------|----------------|---------------|------------------------------|-------------------------------|
| | 最多風向 (16方位) | 平均風速 (m/s) | 日平均値 (MJ/m ²) | 夜間平均値 (MJ/m ²) |
| 管理組合構内 (平成 26 年度) | 東北東 | 2.3 | 13.2 | -2.1 |
| 管理組合構内 (平成 27 年度) | 東北東 | 2.1 | 13.4 | -2.2 |
| 管理組合構内 (平成 28 年度) | 東北東 | 2.1 | 13.5 | -2.2 |
| 管理組合構内 (平成 29 年度) | 東北東 | 2.1 | 13.9 | -2.2 |
| 管理組合構内 (平成 30 年度) | 東北東 | 2.1 | 14.2 | -2.0 |
| 名古屋地方気象台 (平成 30 年度) | 北北西 | 3.1 | 14.9 | 気象台観測無し |

風向(16方位)別出現頻度は下図のようになり、全日では東北東が最多風向、次いで北東が多く、昼間では西～北西及び北東～東北東の風、夜間では東北東の風の出現が多くなっていました。

地点：管理組合構内

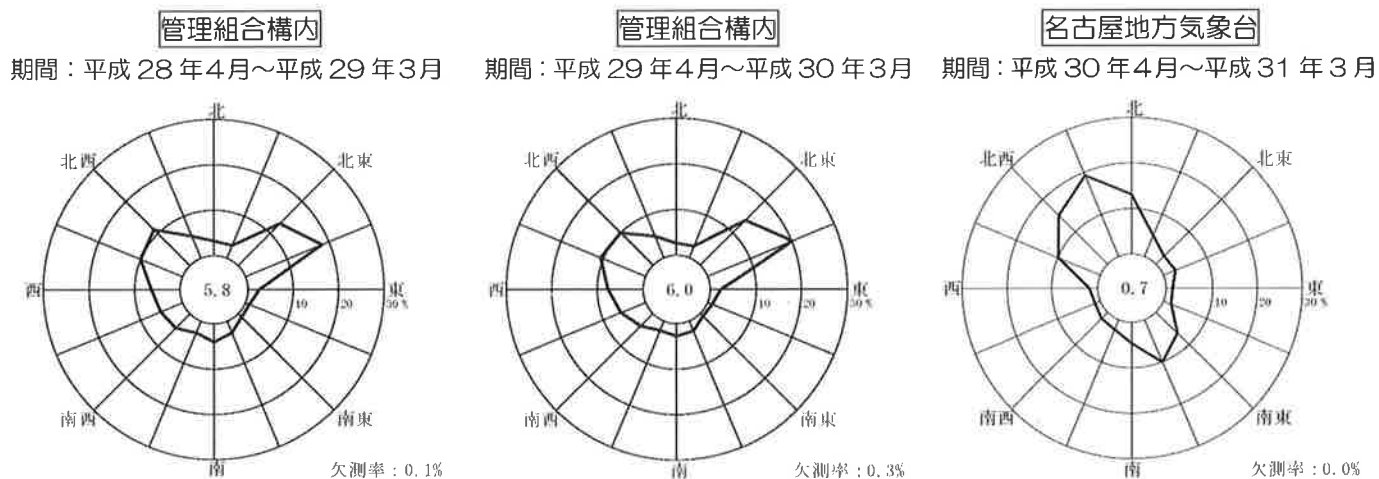
期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日



(注) 円内の数字は静穏率 (0.4m/s 以下 : %) を示す。

今年度の風向別出現頻度は、平成 28、29 年度とほとんど同じで、名古屋地方気象台と比べて、出現頻度が少ない北東～東北東の風向が多く、南寄りの風向が少ないといった傾向も同じでした。

なお、管理組合構内と名古屋地方気象台の差は、地形の違いに起因するものと考えられ、現地調査の重要性が認められます。



(注) 円内の数字は静穏率 (0.4m/s 以下 : %) を示す。